

# 三和分校

## PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

平成25年

7月19日

### 「体験をしましょう」

PTA会長 藤田久美子

盛夏の候 PTA会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素は、三和分校のPTA活動に御協力を賜っておりまして誠に厚く御礼申し上げます。入学式を迎えた春から早や三ヶ月。初々しい新入生も少し高校生活に馴染み始められたでしょうか。

今までの義務教育とは違い、自分の意思で決められた想いをどうか忘れずに前に進んで行ってほしいと思います。子供にはたくさん経験・体験をさせる  
と良いと聞いたことがありますが、親になっても同じことではないでしょうか。



多様な情報が飛び交う昨今、ともすれば知識だけで何事もできたような気分になり、いざ対面するとなかなか思うように対処できないことも多くありませんか。

高校四年間、長い様ですが一生親として関わる事を思えば、わずかな時間ではないでしょうか。ぜひ子供達と同じものを見て同じことを聞いて、同じ感動を味わっていただきたいと思えます。

「子供の年が親の年」と言われる様に、まだまだ私達も親としては高校生かも・・・。  
たくさんさんの体験がこれからの新しい一歩の原動力になるよう祈っています。

### PTA行事に

御参加ください。

・懇談会

七月二十二日(月)

午後七時

・環境整備作業

八月十八日(日)

午前九時

生徒と共に作業します。

### 「良識ある三和分校生 として自分を磨け！」

校長 坂根 文伸

PTA会員の皆様には、日頃より、三和分校の教育に関しまして御理解と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成二十五年度入学式を四月九日に行い、三和分校では農業科十五名、家政科二名の新入生を迎え、三和分校の在籍生徒数は四学級七十七名となっています。

今春の進路状況は、就職十二名、進学は短期大学一名、専修各種学校五名となりました。中丹地域での進路希望が多く、その郷土愛と地元で頑張る姿勢を今後も大切にしたいと思っております。

さて、生徒の活動状況ですが、農業科では四月二十四日～五月二日に生徒諸君が丹精込めて作った苗の販売を行いました。例年のことですが大変好評でした。家政科は五月十九日に福知山市厚生会館で行われた「スイーツ・スプリングフェスティバル」に参加し、「三和マドレーヌ」を販売しましたが、午前中で完売となる盛況ぶりでした。

部活動では、陸上競技部とソフトテニス部が定時制通信制全国大会出場を決めました。このことは、



本人たちの大きな自信と他の生徒への良い刺激となっています。

しかし、一方で、授業をさぼったり授業に集中できない生徒が数名いるという報告も受けており、非常に残念に思っています。授業をきちんと受けること、規則やルールを守ることにについては、三和分校生として当然求められていることであり、生徒の学習環境を守るためにも学校側としてはきちんと対応していきたいと考えています。また、安心で安全な学校運営の観点から、他人に迷惑を掛けるような行為、具体的には、暴力・暴言・いじめ等には厳しく対応していきます。

ハード面でもより良い学びの場を目指して、その環境を整えていきたいと考えています。現在農場

棟が十月末までの予定で耐震工事に入っておりますが、これも安心で安全な学校作りの一貫としての工事ですので理解していただきたく思います。

今年度、京都府教育委員会の府立高校特色化事業として三和分校は「京都フロンティア校」の指定を受けました。これを機会に「三和分校は変わります」を合言葉に、農業科と家政科の連携を一層強化した新しい取組に着手します。農業科と家政科のコラボによる、「ふっこうキュウリ」の栽培や加工、分校特製の「三和マドレーヌ」や「ゴーヤ梅ジュース」の商品化など、販売までを視野に入れた6次産業化を目指します。期待と注目の中、何とんでも目に見える形で三和分校の活性化につなげたいと考えています。

私は、今年度の入学生に対し、次の三つの指針を提案しました。

- (1) 「多面的な知の獲得を常に目指せ」
- (2) 「多くのことに常に果敢に挑戦せよ」
- (3) 「自分の長所・得意分野を常に模索せよ」

これらの指針を軸に、挨拶や礼儀を心掛け、ルールを守り、良識ある三和分校生として自分を磨き、それぞれが目指す進路目標を実現してくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ、同窓会や地域の皆様の御厚情を賜り、順調な学校運営ができていますことに心より感謝申し上げます。今後とも教職員一丸となつて、福知山高校三和分校の伝統をさらに充実させる決意で臨みます。変わらぬ御支援・御協力をよろしくお願ひ申し上げます。



### 「学ぶ君を応援します」

教務部長 宇野 佳代

P T A会員の皆様には、日頃より三和分校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。新入生を迎えスタートした一学期もまとめの時期となりました。教務部の立場から一学期を振り返ってみたいと思います。

生徒の皆さんはまず、自分自身で次の五つの問いに「はい」または「いいえ」で答えてみましょう。保護者の皆様は「あなた」の部分で「あなたのお子さんは」に置き換えてみてください。

【問一】あなたは、授業に必要な

教科書・ノート・ファイル・体操服・実習服などを用意できていましたか。

【問二】あなたはテストの前に家庭学習をしましたか。

【問三】あなたは、指示されたノート・ファイル・作品を締切までに提出できましたか。

【問四】あなたは指示された補習等に出席できましたか。

【問五】あなたは、基礎学習・トライ学習・掃除・特別活動に取組めましたか。

次に、終業式に受け取る通知票をよく読み、一学期の学校生活を振り返ってみましょう。

五つの問い、すべての答えが「はい」になった人は、学習に関して、充実した一学期を送れたと言えるでしょう。残念ながら一つ以上「いいえ」がある人は、学習への取組み方を改善する必要があります。夏季休業中の補習に必ず出席し、二学期に向けて準備をしなければなりません。

高校生活で最も大切なことは「学習」です。三和分校に入学した生徒が、社会で通用する学力を身につけることは、私たち教職員の大きな「願い」です。冒頭の五つの問いはその「願い」をかなえるために必要な最低限のハードルです。三和分校では学校生活を「社会に出るための準備期間」と考え、「やるべきことをやり遂げるこ

と」を繰り返して指導しています。保護者の皆様と共に歩んでゆけますよう、今後ともよろしくお願ひいたします。

### 「気持ちの変化」

生徒指導部長 今井達也

P T A会員の皆様には、日頃より三和分校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。早いもので今年度もスタートして、三ヶ月が経とうとしています。

一年生は、高校生活に慣れ、緊張感がとれ、遅刻・欠席・怠学・中抜け等、気になる行動が見られるようになってきました。生徒指導部では、数年前から次の三つのことを、訴え続けています。

- ① 相手の気持ちを考えて、行動しよう。
- ② 素直になろう。
- ③ 当たり前のことを当たり前に継続してできる人になろう。

その中で、昨年度の途中から、生徒との会話や感想文やアンケートなどである変化が現れてきたことに気づきました。それは「相手の気持ちを考えて話したり行動したりする」「自分がされて嫌なことは相手がされても嫌なので、してはいけないと思う」「当たり前のことを当たり前にできるようにしたい」等の記述や発言が多くな

つてきたということ。前述した三つのことを考え、意識してくれている生徒が増えてきているということだと思いません。今までもこのような思いを持って行動している生徒諸君もたくさん居たと思いますが、今回気付いたことは、さらにその段階よりも一つステップアップし、その思いを口に出すことや書き記すことができるようになってきた現れの一つだと思えます。これからもひとりでも多くの生徒がこのような思いを持ち、行動に移していけるように、話し続けていきたいと思います。

今後も引き続き根気強く指導していこうと思えますので、御家庭の更なる御協力をお願いいたします。



## 「共に 学校から職場への 橋渡しを」

**進路指導部長 吉川 雅彦**  
PTA会員の皆様には、日頃より三和分校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

四月から四年生の進路指導に取組む中で、生徒が変化し成長していく姿に触れる場面が多々ありました。

☆これまで自分で職員室の先生に声をかけることが難しかった生徒が徐々に大きな声で挨拶し用件を伝えられるようになった。

☆朝の登校指導で挨拶を返せなかった生徒が、毎回声を出して挨拶を返せるようになった。

☆基礎学習の時間に配布物を進んで配ってくれる生徒が増えた。

これまで馴染んできた環境から新しい環境に巣立つことは確かに大きな不安を伴い、時には挫折を経験することにもなります。しかし、自らの進路を選択し決定していく過程は、生徒を大きく成長させる「通過儀礼」(イニシエーション)の機会となるのだということとを日々改めて感じています。

ところで、東京の経営者協会が「高卒者採用にあたって重視する内容」について毎年調査をしています。その回答を紹介します。

一位、コミュニケーション能力

二位、基本的な生活態度、言葉遣い、社会人としての礼儀・マナー

三位、人柄(物事に取組む態度、物事の受け止め方)

四位、協調性

五位、読み・書き・計算などの基礎学力

調査年によって多少の変動はありますが、コミュニケーション能力と協調性は常に上位に入っております。高校生の採用においては、まず仕事を覚えることや、対人関係を円滑にする会話や組織への適応力、挨拶や言葉遣い、生活習慣に関する要素が重要な判断材料になっていることが伺えます。こうした能力や態度は、どれも日々の学校生活や学習の中で培われていくものであるとの観点から、学校としても引き続き根気強く指導していきたいと考えています。御家庭におかれましても、そうした能力・態度の大切さを論じていただき、学校と家庭で統一した「口癖」にしていければと思います。

生徒一人ひとりが、本校卒業後、社会の中で役割を果たし、自分らしい生き方を実現していくための準備を前向きに進めていくよう、これからも保護者の皆様と共に努めていきたいと思います。今後とも御協力いただけますようよろしくお願いいたします。

## 教職員紹介

三和分校の教職員です。校長と事務長を入れて、十七人です。他に非常勤教職員十五人も授業などを担当します。

## 新転任の先生方より

「よろしくお願ひします」



**家庭科 萩原 有紀**  
今年度より、新任で福知山高校三和分校に参りました。一年生から四年生の家庭科の授業を担当させていただきます。

学校現場の経験がなく、多々ご迷惑をおかけしてしまうことと思えますが、精一杯努力をし、生徒とともに成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

「がんばります」

**農業科 長主 浩司**  
この春より、京都府立農芸高校より転任してまいりました。

農業科の一年生から四年生の総合実習を主に担当いたします。

農芸高校では畜産を担当しており、本格的に野菜や花を育成するのは初めてです。種まきや定植作業は授業までに予習を繰り返し、臨んでいますが、生徒に教わることも多いです。管理するうえで特に難しいのは、灌水(水やり)です。水量や時間帯による、成長の変化には驚かされるのがいっぱい。勉強の毎日です。また、朝一番に温室に向かうと、多くの生物にも出会うことができます。最近では、キジのきれいな雄を見かけました。三和分校は自然豊かなところだと感じています。

まだまだ、知らないことも多く御迷惑をかけると思いますが、実習を通して生徒に「生きる力」を身に着けてほしいと思っております。共に成長していけるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

「よろしくお願いたします」

養護 足立 恵里香

今年度、四月に福知山高校本校から参りました。保健部の養護として、保健室及び職員室に常駐しています。

保護者の方々や教職員とともに、生徒がよりよく学校生活を送ることができるよう、身体とこころの

面からサポートをしていきたいと考えています。どうかよろしくお願いたします。

「よろしくお願いたします」

技術職員 澤田 正信

今年度 四月に、府立中丹支援学校より転任して参りました。環境整備を通して生徒みんなが気持ちよく安全に学べるよう微力ではございますが、精一杯の努力を重ねる所存です。どうぞよろしくお願いたします。

## 祝 全国大会出場

四年 土佐 成美さん

四年 中島 杏奈さん

四年 高橋 亜優美さん

二年 四方 夏美さん

八月八日～十一日

平成二十五年

全国高校定通制体育大会

第四十六回ソフトテニス大会

女子団体(京都チーム)

女子個人

会場・有明テニスの森公園

(東京都江東区)

四年 下田 由貴さん

八月十一日～十四日

平成二十五年

全国高校定通制体育大会

第四十八回陸上競技大会

百メートル

三千メートル

四×百メートルリレー

会場・国立競技場

(東京都新宿区)

## PTA会員のひとこと

「貴重な三和分校」

三年 保護者

子どもが三和分校に入学するときは、四年間は、長いと思いましたが、楽しく学校生活が出来ているようで、いやがることもなく登校しており、親としては、四年間は短いと、今は思っています。

高校を選ぶとき、子どもの希望や色々な状況から「ゆつくり、少人数で学習する」ことが合っているというところで、三和分校を希望しました。通学可能な範囲で「ゆつくり、少人数で学習する」ことを行って頂けるのは三和分校しか無く、本当にありがたく思っています。もしも他の公立高校や私学の高校に進学したとすれば、たぶん今のよう楽しく学校生活を送ることはできなかつたと思います。そういった点で三和分校は貴重な存在であり、今後も存続していただければと思います。

今、三年生でこのあと進路を決めていかなければならないのですが、次も本人にうまく合う進路が見つけられれば良いなと思っています。

「子どもは何歳になっても子ども」

一会員より

ある大先輩がおっしゃってられた言葉を、事有る毎に思い出します。その方は、すでに八十歳を越えておられました。六十歳を過ぎた二代目社長の事を、そう言うっておられました。私の子どもはまだ二年生ですが、ようやく進路が気になってきて、親にあれこれ相談する様になりました。私の時代を振り返ると、随分と遅い気がしますが、自分なりに将来を見ていてくれる事は、少しは大人になったかな、と思います。

先の先輩や、私の親の様に、六十年程も親をなさっている方と比べると、私とて、まだまだ子どもなんですよ。人が、人様に恥ずかしくないよう、社会人として当たり前のこととして「周りから尊敬される人」になれるよう、導いていきたいと思えます。その為に、私自身も、さらなる努力をしなければならぬと考えています。